

脳血栓回収 2000 例

はじめて私自身が血栓回収療法に触れたのは2014年でした。この患者さまは発症から間もない大きな血管の閉塞で来院し、血栓回収療法を行ったことで劇的に症状が改善しました。2022年現在も元気に外来に通われています。ひと昔前であれば、このような結果は想像できなかったことでしょう。その当時は、点滴で詰まった血栓を溶かす血栓溶解療法(rt-PA静注療法)が主流であり、脳梗塞起こしたての患者さまにどれだけ早く迅速に投与ができるかが、患者さまの症状を軽くする唯一の治療法でした。この血栓溶解療法は2005年から国内で行われるようになり、脳卒中診療の歴史を変える大きなパラダイムシフトとなりました。ただし、血栓溶解療法を受けた患者さまが全例詰まった血栓が溶けて、劇的に症状が改善するというわけではなく、中には効果がないばかりか、逆に全身的な出血の病気が起きて、むしろ症状が悪くなってしまう患者さまが少ないながらも事実でした。

そんな中、はじめて血栓回収療法が日本で認可されたのは2010年でした。今とは機器の種類が多少異なりますが、これは現在も主流である血管内治療により血管を再開通させる方法です。血管内治療とは、足の付け根にある太い動脈に針を刺し、そこからカテーテルという細い管を脳内の血管まで挿入して、詰まった血栓を取り除く(血栓回収)治療です。血栓回収療法の有効性が確立したのが2014年であり、鹿児島医療センターも同じ年に実施開始となりました。その頃まだ初学者であった私は、血栓回収療法を初めて目にし、治療を受けた患者さまの症状が劇的に改善する姿を何度も目撃し、衝撃と感銘を受けました。この出来事が、私自身が血管内治療専門医を目指そうと思ったきっかけとなりました。

当時はエビデンス(治療の道しるべとなるデータ)が不足する中で、何が正解なのか手探りの中診療を進めていくことも多くありました。しかし、保険診療開始から8年が経過した今は、医療の発展により血栓回収療法を受けられる患者さま適応の幅が広くなり、患者さまにベストな治療が行える条件なども分かってきています。そんな中、鹿児島医療センターは2022年1月に血栓回収療法が通算2000例目を迎えることができました。これは、多職種からなる脳卒中診療チームが一丸となって「患者さまを一人でも多く良くしたい!」という前向きな気持ちと類まれなる努力がなければ成し得なかった数字です。今後は超高齢化社会による高齢者の人口の増加や更なる適応の拡大などにより、血栓回収療法も増えていくものと予想されます。背景が異なる各々の患者さまにどのような治療法が適切であるのか、臨床の現場ではまだまだ解決しなければならない問題は山積みですが、これからも患者さまにとってベストな治療が何なのか、悩みながら質のいい医療を提供できるように日々邁進していきたいと思えます。

(文責:脳血管内科医師 濱田 祐樹)



遠隔モニタリングチームの紹介

当院、主に不整脈診療科ではペースメーカー・ICDなど心臓植込み型電気デバイスに対して遠隔モニタリングシステムを導入しております。

遠隔モニタリングシステムとは

ご自宅の寝室に専用の機械を置いていただき、主に夜間にデバイスと機械が通信を行い、植込んだデバイスのリード・電池・不整脈などの情報を、携帯電話の回線（基本的に無線）を通じて病院へデータを送信するシステムです。当院へ通院されている方が対象で、定期的にデータチェックし、必要時ご連絡しています。新型コロナウイルス感染予防の観点からも遠隔診療は推進されており、全国各施設において導入が進んでいます。

遠隔モニタリングのメリット

- デバイスチェックのための病院受診回数を減らすことができます。
- デバイス異常や不整脈を早期対応でき、生命予後の改善につながっています。
- 通院回数が減ることで通院にかかる費用の軽減になります。
- 何も異常がなくても最低月1回はデータを病院へ送信します。
- 自動送信なので最初の設置のみです。（一部機種除く）

遠隔モニタリングチーム活動内容

- 導入時に患者さま、ご家族に遠隔モニタリングの説明
- アラート対応・データの解析
- 入院・外来受診時、体調確認や遠隔データについて説明
- 通信不良やICD作動時、心不全疑い時の体調確認などの電話連絡
- 定期的なデバイスカンファレンスで設定の検討や治療方針の確認 院内勉強会 など

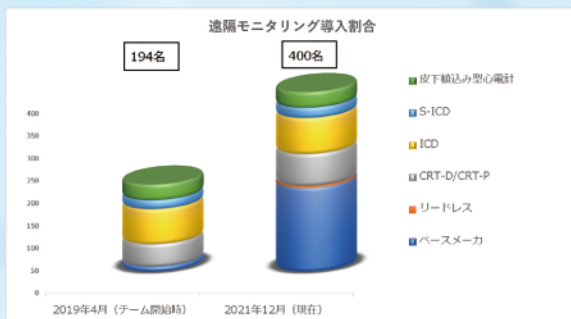
当院では医師と連携して、植込み型デバイス認定士やCDR（ペースメーカー / ICD関連情報提供者）認定を取得したデバイスナース・臨床工学技士が中心となってデータ解析や患者さまへ介入をさせていただいております。両心室再同期治療（CRT）が必要な患者さまなど、重度の心不全を背景にデバイス植込みされている方も多数いらっしゃるため、心不全に対する介入も重要です。胸郭インピーダンスといううっ血状態を予測することができる機能を持つ機種では、心不全の早期発見・対応ができ、入院の回避や予後の改善につなげることができると期待されています。当院では、2021年より心不全療法指導士を取得したナースがチームに加わりパワーアップしました。

デバイスの設定や機能は多様化・複雑化してきているため、デバイスナースの役割は重要となってきています。データ解析だけでなく日常生活のお話を伺うことで個人にあった設定や治療を早期に検討でき、生活の質を上げるお手伝いとなればとやりがいを持って活動しています。

事務をはじめ院内全体の医師・コメディカルスタッフ、特に外来ナース・スタッフさんにはご協力いただき感謝しております。遠隔診療はまだ歴史が浅い分野なので、どのようにしたら質の高い医療・看護が提供できるか日々模索しながら取り組んでいます。

遠隔モニタリングは緊急対応のシステムではありません。疑問・ご質問ございましたら当院遠隔モニタリング担当までご連絡ください。

（文責：遠隔モニタリング担当 看護師 佐藤 妙子）



S-ICD：皮下植込み型除細動器
 ICD：植込み型除細動器
 CRT-D：両室ペースティング機能付き植込み型除細動器
 CRT-P：両心室ペースメーカー
 リードレス：リードレスペースメーカー



鹿児島医療センター 外来診療担当表

2022年4月1日現在

| 診療科 | | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------------------------------|-------------------|----|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 血液内科 | 初診 | | 大塚 真紀 | 原口 浩一 | 有馬 直佑 | 大塚 真紀 | 大渡 五月 |
| | 再診 | | 大塚 真紀 有馬 直佑 | 大塚 真紀 原口 浩一 | 大渡 五月 有馬 直佑 | 大塚 真紀 原口 浩一 | 大渡 五月 |
| | 移植後フォローアップ外来※ | | 血液内科医師及び看護師（完全予約制） | | | | |
| 腫瘍内科 | 初診・再診 | | 魚住 公治 鈴木 紳介 | 魚住 公治 | 魚住 公治 | 魚住 公治 | 魚住 公治 |
| | 肉腫専門外来 | | | | | | 魚住 公治 |
| 糖尿病・内分泌内科 | | | 郡山 暢之 | 児島 奈弥 牧野 美和 | 郡山 暢之 | 郡山 暢之 當房 卓也 | 郡山 暢之 |
| 糖尿病療養指導外来※ | | | 糖尿病看護認定看護師 | | | | |
| 消化器内科 | 消化管・胆膵 | | 井上 和彦 梶原 涼 | 福森 光 宮之前 優香 | 福森 光 宮之前 優香 | | 井上 和彦 梶原 涼 |
| | 肝臓 | | 櫻井 一宏 | 森内 昭博 | 櫻井 一宏 | 森内 昭博 | 櫻井 一宏 |
| 腎臓内科 | | | 古庄 正英 | 古庄 正英 | 「手術日」 | 古庄 正英 | |
| 第一循環器内科 | | | 中島 均 福永 研吾 福崎 篤 | 片岡 哲郎 高崎 州亜 | 中島 均 野元 裕太郎 | 中島 均 稲津 真穂人 | 高崎 州亜 沖野 秀人 |
| 第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日 | | | 馬場 善政 園田 幸一郎 | 田中 康博 東 健作 平峯 聖久 | 藤田 正浩 | 田中 康博 伊集院 駿 | 藤田 正浩 長野 真二郎 松本 洋之 |
| 不整脈治療科 | | | 塗木 徳人 | | 塗木 徳人 蔡 榮鴻 | | 塗木 徳人 |
| 脳・血管内科 | | | 松岡 秀樹 濱田 祐樹 池田 め衣 | 松岡 秀樹 高口 剛 濱田 祐樹 | 松岡 秀樹 池田 め衣 | 松岡 秀樹 山下 悠亮 | 松岡 秀樹 高口 剛 |
| 小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日 | | | 二宮 由美子 あべ松 貴成 安留 悠希 吉永 正夫 | 田中 裕治 あべ松 貴成 安留 悠希 | 田中 裕治 あべ松 貴成 安留 悠希 | 田中 裕治 二宮 由美子 あべ松 貴成 安留 悠希 | 田中 裕治 あべ松 貴成 安留 悠希 吉永 正夫 |
| 放射線科 | 放射線治療 | | 上山 友子 | 上山 友子 | 上山 友子 (午前のみ) | 上山 友子 | 上山 友子 |
| | 画像診断 CT・MRI・RI | | 井手上 淳一 桑水流 絵梨奈 | 井手上 淳一 長野 えりな | 桑水流 絵梨奈 長野 えりな | 井手上 淳一 桑水流 絵梨奈 | 井手上 淳一 長野 えりな |
| 心臓血管外科 | | | 川津 祥和 | | 金城 玉洋 | | 立石 直毅 |
| 外科・消化器外科 | | | | 碓方 輝夫 高取 寛之 | | 碓方 輝夫 塗木 健介 宮崎 俊明 | |
| 脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休止 | | | 久保 文克 | 久保 文克 | 「手術日」 | 久保 文克 (今村 純一) | 渡邊 章二 |
| 婦人科 *完全予約制 | | | 吉永 浩介 牧瀬 裕恵 岩尾 葵 | 神尾 真樹 吉永 浩介 牧瀬 裕恵 | 「手術日」 | 神尾 真樹 吉永 浩介 岩尾 葵 | 神尾 真樹 牧瀬 裕恵 岩尾 葵 |
| 耳鼻咽喉科 *完全紹介制（初めての方は医師の紹介が必要です） | | | 松崎 勉 西元 謙吾 | 「手術日」 | 松崎 勉 西元 謙吾 | 「手術日」 | 松崎 勉 西元 謙吾 |
| 泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休止 | | | 川平 秀一郎 | 「手術日」 | 川平 秀一郎 | 川平 秀一郎 | 川平 秀一郎 |
| 皮膚腫瘍科・皮膚科 | | | 松下 茂人 青木 恵美 日高 太陽 | 「手術日」 | 松下 茂人 青木 恵美 日高 太陽 | 「手術日」 | 松下 茂人 青木 恵美 平野 唯 |
| 眼科 ※ 外来診療のみ | | | 芳原 直也 | 芳原 直也 | 休診 | 芳原 直也 | 芳原 直也 |
| 歯科口腔外科 | | | 中村 康典 | 中村 康典 | 中村 康典 | 中村 康典 | 中村 康典 |
| 専門外来※ | 医師 | | 緩和ケア外来・松崎 勉 がんゲノム医療相談外来・鈴木紳介 | | 腹水外来 櫻井 一宏 | | |
| | 看護師 | | フットケア外来 糖尿病看護認定看護師 | | リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者 | ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師 | |
| セカンドオピニオン外来※ | | | 循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患 | | | | |
| 『健康診断』 受付 午前8：45～10：00 | | | | 第一循環器内科 | 第二循環器内科 | | 脳・血管内科 |

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター（心臓病・脳卒中・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

メディカルサポートセンター

地域連携室専用FAX▶099(223)1177
※休日・時間外は当直者で対応します。

